

丹波篠山の高校生7人

米・ワラワラ市へ短期留学 語学や現地の文化を学ぶ



短期留学に向かった高校生たち。期待を胸に手でワラワラ市の頭文字「W」をつくった。丹波篠山市北新町

丹波篠山市と姉妹都市提携を結ぶ米ワシントン州ワラワラ市に短期留学する高校生たちの出発式が22日、丹波篠山市北新町の市役所

であった。31日までの10日間で、語学や現地の文化を学ぶ。姉妹都市提携は1972年、篠山町が結んだ。短期

2025年3月24日

神戸新聞

交換留学は94年に始まり、毎年互いの高校生らを受け入れて交流を深めている。今年には篠山鳳鳴▽篠山産業▽篠山東雲▽三田祥雲館の4高校から7人が参加。ワラワラ市ではホストファミリーと親睦を深めながら、市長への表敬訪問や、現地の施設見学、授業体験などに取り組む。

出発式では、同市国際姉妹都市委員会の委員長や市長らが生徒らを激励。代表してさん「篠山産業高2年」が「積極的に活動し、自分を大きく成長させたい。異なる文化、世界観に触れて視野を広げ、新しい発見を得たい」と述べた。

さん「篠山東雲高2年」は「初めての海外に期待と緊張でいっぱい。現地の方とたくさん話して発音などを磨きたい」と話していた。